

災害医療現場における 医科歯科連携について

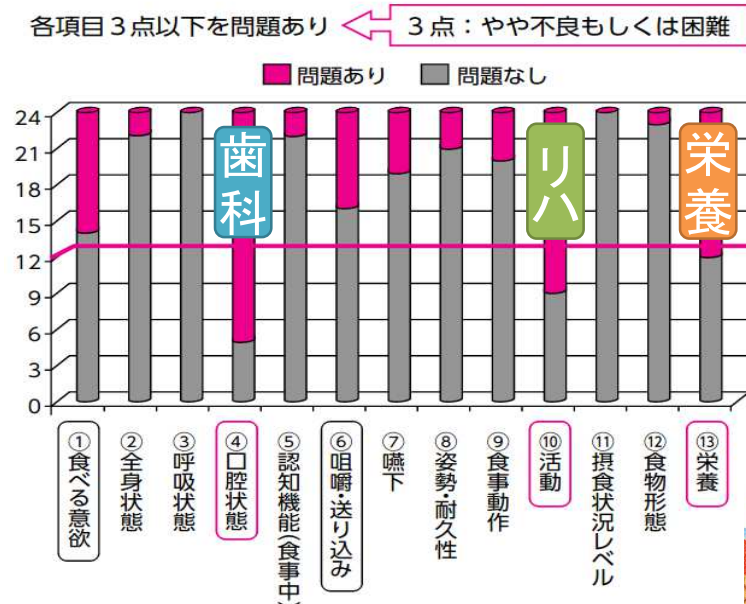
2025年9月20日(土) **WS後追加情報**

Doctorbook

東北大学 大学院歯学研究科 災害・環境歯学研究センター 特任講師
東京科学大学 大学院 救急災害医学分野/歯科公衆衛生学分野 非常勤講師
岩手医科大学歯学部・長崎大学歯学部・日本大学松戸歯学部 非常勤講師
日本災害時公衆衛生歯科研究会 世話人

中久木 康一
nakakuki@biglobe.jp

図2：平成28年熊本地震後早期(2日～14日)におけるKTバランスチャートを用いた評価(n=24)

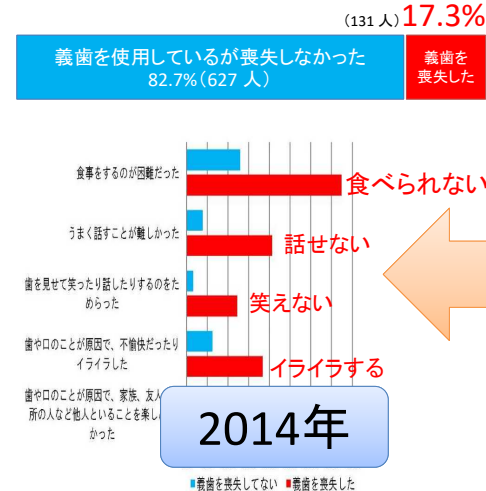


小山珠美(NPO法人から食べる幸せを守る会)、震災による避難所での二次的合併を回避するKTバランスチャートを使用した包括的支援の実際、＜特集＞多職種で取り組む災害時の食支援、地域保健 2017年11月号、第48巻6号、東京法規出版



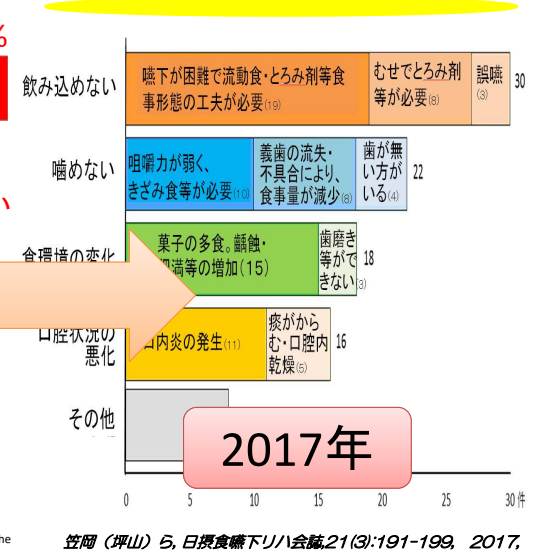
災害時の義歯喪失の 食事や会話への影響

東日本大震災後の沿岸被災地域の調査において
震災前から義歯を利用していた人758人



Yukihiro Sato et al., Impact of Loss of Removable Dentures on Oral Health after the Great East Japan Earthquake: A Retrospective Cohort Study. Journal of Prosthodontics, 2014 Sep 14. doi: 10.1111/jopr.12210.

派遣栄養士が報告した
「口腔保健」問題の質的解析
JDA-DATエビデンスチームによる東日本大震災 活動報告書分
析(発災1か月～6か月後、n=599)



笠岡(坪山)ら、日景食嚥下リハ会誌21(3):191-199, 2017.

個別歯科保健ニーズ評価

「食べる」3項目		ある	たまにある	ほとんどない
1) 食事が食べにくいと感じることがありますか？	2) 食べたり飲んだり、むせたり咳きこんだりすることがありますか？	3) 口が渇いたり、口内炎ができたりなど、口で気になることがありますか？		
歯科保健3項目		問題ある	少し問題ある	問題ない
4) 必要な口腔ケア用品(歯ブラシ・歯みがき剤など)は、足りていますか？	5) 被災前と同じように、毎日の口腔ケアができていますか？	6) 歯科に通院するときに、交通手段などの問題はありますか？		

◎ 平成28年熊本地震で検討された、災害急性期の避難所・仮設住宅に
おける個別歯科保健支援ニーズ評価
災害・緊急時の食と栄養 いますぐ知りたいアクションQ&A
「臨床栄養」別冊、医歯薬出版、2023年3月



2022年11月号

D-EATs 災害時「食べる」連携研修会

日本災害医学会
にて研修コースを
構築中

2023年:プレ試行
コース3回(東京)
2024年:試行コー
ス3回(東京・博多・
名古屋)
2025年:試行コー
ス4回(静岡・宮崎・
新潟・金沢)

講義1	研修の目的・意義
講義2	わが国の災害保健医療体制
講義3	災害時活動の原則(CSCA)
講義4	災害時の栄養問題と続発症
	休憩
講義5 演習	災害食演習(準備)
講義6 演習	歯科からみた「食べる」評価/災害支援
講義7 演習	栄養からみた「食べる」評価/災害支援
	昼食(災害食演習(実食))
演習	災害食演習(実食) まとめ
講義8 演習	リハビリテーションからみた「食べる」評価/災害支援
講義9 演習	災害時の「食べる」の多面的評価と連携(演習)
	休憩
講義10	在宅・施設・地域における対人対応に必要な連携
講義11	被災者の心理や対応、背景
講義12	「食べる」の備蓄とBCP
総合質疑	総合質疑・討論
	試験説明、試験
	試験解答・解説確認
講義13	地域で多職種が連携して取り組む必要性と仕組みづくり
講義14	災害時の多職種多組織での情報共有
	修了式、写真撮影



災害時「食べる」連携研修 Trial 20231014

05 演習 災害食の準備



昼食「食べる」演習



06 歯科における災害支援/歯科からみた「食べる」評価



09 災害時の「食べる」の多面的評価と連携(演習)



12「食べる」の備蓄とBCP



D24Hの活用範囲

D24Hを活用する機関等については、「大規模災害時の保健医療福祉活動に係る体制の整備について」(通知)等を踏まえて設定し、各団体にIDとパスワードを付与

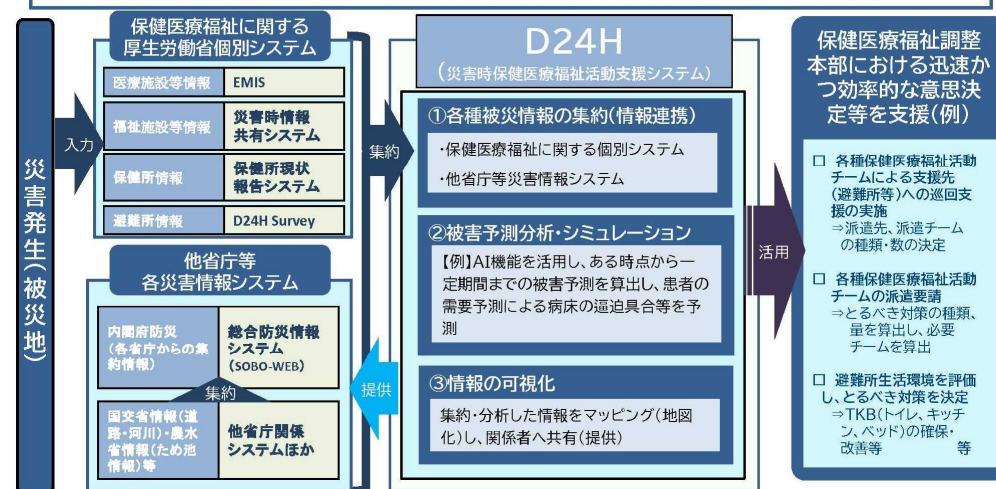
属性	団体等名称
国	・厚生労働省職員(大臣官房厚生科学課、医政局、医薬局、健康・生活衛生局、社会・援護局、障害保健福祉部、老健局)、内閣府(防災)、他省庁の職員(経産省、国交省、農水省等)
都道府県保健医療福祉調整本部	県庁の職員(防災担当部局、医務主管課、保健衛生主管課、業務主管課、精神保健主管課、民生主管課) ※「災害時の福祉支援体制の整備について」平成30年5月31日社援発0531第1号厚生労働省社会・援護局長通知に記載する災害福祉支援ネットワークを所管する部署。
保健所・DHEAT、市町村	・保健所の職員・災害医療コーディネーター・災害薬事コーディネーター ・災害時小児周産期リエゾン・市町村(保健所と連携)
保健医療福祉活動チーム等	・災害派遣医療チーム(DMAT)・日本医師会災害医療チーム(JMAT) ・日本赤十字社の救護班・独立行政法人国立病院機構の医療班 ・全日本医療支援班(AMAT)・日本災害歯科支援チーム(JDAT) ・薬剤師チーム・看護師チーム(被災都道府県以外の都道府県、市町村、日本看護協会等の関係団体や医療機関から派遣された看護職員を含む) ・保健師等チーム・管理栄養士チーム・日本栄養士会災害支援チーム(JDA-DAT) ・災害派遣福祉チーム(DPAT)・日本災害リハビリテーション支援協会(JRAT) ・災害派遣福祉チーム(DPAT)・災害時感染制御支援チーム(DICT) ・その他の災害対策に係る保健医療活動を行うチーム・中間支援団体(JVORDを想定)

大規模災害時における「災害時保健医療福祉活動支援システム(D24H)」の活用について(周知)

<https://www.mhlw.go.jp/content/001463038.pdf>

災害時保健医療福祉活動支援システム(D24H)による災害時の支援(全体図)

- 災害における保健・医療・福祉に関する厚生労働省個別システム及び総合防災情報システム(SOBO-WEB)と情報連携し、保健・医療・福祉に関する情報と他省庁の情報(浸水域・道路啓開情報等の災害情報)を迅速・リアルタイムに集約。
- 集約した情報を整理・分析するとともに、これらの情報を一元的に地図上で可視化可能。
- ⇒ 保健医療福祉調整本部における迅速かつ効果的な意思決定(保健医療福祉活動チームの派遣、物資支援等)を支援
令和7年度当初予算:33.5百万円(基礎的運用)、令和6年度補正予算:17.2百万円(能登半島地震での教訓を踏まえたシステム改修)



災害対応に係る保健医療福祉関係団体連絡会議(会議資料1厚労省) 2025年7月2日

施設・避難所等
ラピッドアセスメント
シート 20250331

[illegible]

施設・避難所等
歯科口腔保健
ラピッドアセスメント票

項目	
基本情報	
対象者	避難者数 高リスク者数
(1) 歯科医療	歯科保健医療 の確保状況
(2) 環境	水・洗口場の 確保状況
(3) 用具	歯ブラシ・歯磨剤 の確保状況
(4) 行動	口腔衛生行動 介助の有無
(5) 症状	痛みや不自由さの有 無
その他	

[illegible]

Japan Association of Public Health Nurse Directors

 全国保健師長会

全国保健師長会とは - ごんた活動しています - 調査研究事業 - 入会のご案内 - 会員メニュー -

2019年度 災害時の保健活動推進マニュアル (地域保健総合推進事業)

活動方針・体系図・年画計画
ブロック活動
支部活動

災害マニュアル

■ 2019年度「災害時の保健活動推進マニュアル」(令和2年3月)の作成について

全国保健師長会では、災害時の保健活動への関与を促進するため、活動推進マニュアルを作成しました。

また、「版を重ね」として、目標と達成度合いを公表し、広くご活用ください。

【構成】
1. 序言
2. 関係機関との連携
3. 応援・支援活動モード
4. 被災地の基本情報・現地の状況把握
5. 被災地の健康相談窓口
6. 被災者の健康相談窓口
7. 被災者の健康相談窓口
8. 被災者の健康相談窓口
9. 被災者の健康相談窓口
10. 被災者の健康相談窓口

【目次】
1. 序言
2. 関係機関との連携
3. 応援・支援活動モード
4. 被災地の基本情報・現地の状況把握
5. 被災地の健康相談窓口
6. 被災者の健康相談窓口
7. 被災者の健康相談窓口
8. 被災者の健康相談窓口
9. 被災者の健康相談窓口
10. 被災者の健康相談窓口

【歯科保健・医療対策のチェック項目と症状】 p.57参照

	チェック項目
歯科保健・医療対策	☐ 口腔衛生や口腔機能の低下に配慮が必要な対象者がいる (配慮が必要な者：乳幼児・妊婦・後期高齢者・障害児者・要介護者・糖尿病等の有病者)
	☐ 飲料水・生活用水・洗口場所が不十分である
	☐ 歯ブラシ・歯磨き剤・コップ、義歯洗浄剤、義歯ケースなど資機材が不足している
	☐ 口腔清掃状況が不十分である
	☐ 歯痛や口内炎を訴える者、食事摂取が不自由な者がある
	☐ 歯科診療所、巡回歯科チームなどの歯科保健医療体制がない

発行
2020年3月

歯科保健医療
二一ズ調査・対応
実施票(個別・個人)

【アセスメント】※「災害3-3」項目

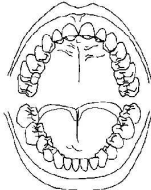
食事をする時の問題	1 なし	2 あり	歯や口の清掃問題	1 なし	2 あり
歯みがきの環境問題(用品等)	1 なし	2 あり	歯科治療の必要性	1 なし	2 あり
歯みがきをする問題(介助等)	1 なし	2 あり	歯科治療の確保の問題	1 なし	2 あり

【口腔機能】※「口腔機能向上サービスに関する計画書」項目 (選択肢は「問題なし、問題あり、不明」の順)

奥歯のかみ合わせ※	1 あり	2 あり	3 不明	口腔乾燥	1 なし	2 あり	3 不明
食べこぼし	1 なし	2 あり	3 不明	舌の動きが悪い	1 なし	2 あり	3 不明
むせ	1 なし	2 あり	3 不明	ぶくぶくうがい※※	1 できる	2 できない	3 不明

※ 食事に義歯を使用する場合は義歯も含む ※※ 誤嚥リスクなどうがいをしない場合は記載不要

【口腔内状況】

口腔衛生 状態	プラークの付着状況	1 なし	2 少量	3 中程度	4 著しい	右		左
	食渣の残留	1 なし	2 少量	3 中程度	4 著しい			
	舌苔	1 正常	2 中程度	3 著しい	4 ない(平滑)			
	口腔乾燥	1 なし	2 軽度	3 中程度	4 著しい			
	口臭	1 なし	2 弱い	3 強い				
義歯の状況	上顎	1 なし	2 総義歯	3 部分義歯	4 あるが未使用			
	下顎	1 なし	2 総義歯	3 部分義歯	4 あるが未使用			
	義歯の汚れ(義歯ありのみ記載)	1 なし	2 少量	3 中程度	4 著しい			
臼歯部での 咬合	義歯なしで	1 なし	2 あり	→ □ 片側 □ 両側				
	義歯ありで(義歯ありのみ記載)	1 なし	2 あり	→ □ 片側 □ 両側				
歯科疾患	歯周病	1 なし	2 あり	→ □ 痛みあり □ なし				
	う蝕	1 なし	2 あり	→ □ 痛みあり □ なし				
	粘膜疾患	1 なし	2 あり	→ □ □内炎 □ 潰瘍 □ その他				
	義歯の問題(義歯ありのみ記載)	1 なし	2 あり	→ □ 破損 □ 不適合 □ 不使用				

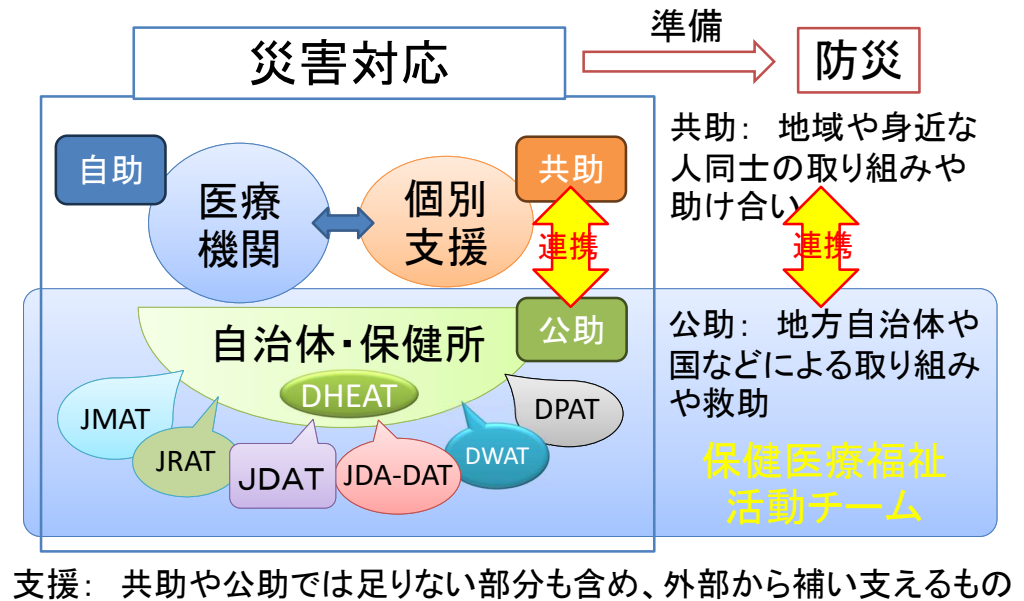
現在歯数 (うち義歯数)

氏名	□姓 花子		87	才	男	作成日時	2024 年 3 月 1 日		
姿勢	□立位	□座位	□臥位	□傾斜位	□フックリー	□他	（詳細は別添紙に、状況のほうへ！）		
ケア用品	□口腔ケアの座席		□口腔スポンジ		□スポンジ類	□シングルタングラム	□義歯ブラシ		
	□口腔ケアシート（ワット10枚×510）		□保湿剤（コンクールマウスジェル）				□義歯洗浄剤		
	□義歯ブラシ		□保湿剤		□口腔ケアフロストロール		□義歯洗浄剤		
口腔状態	歯	□問題なし	□問題あり	□むし歯（右上下 齲齱1本）	□他病				
	歯肉	□問題なし	□問題あり	□歯肉炎（頬粘膜）	□他病				
	義歯	□義歯なし	□問題あり	□義歯部分	下□部分義歯	□他義歯			
	義歯状態	□問題なし	□問題あり			□	□義歯交換期間中（上・下）		
	舌	□問題なし	□問題あり	□乾燥	□麻痺（舌先）	□口腔腫大	□口腔粘膜全体		
	舌	□問題なし	□問題あり	□舌苔	□舌の病変				
	口腔状態	□問題なし	□問題あり	□歯痛	□その他				
	うがい	□問題なし	□問題あり	□うがい	□吸引	□その他（口腔ケア実施回数・経路回数等）			
	右							左	
	右上下歯 齲齱1本 粘貼ブラを使用して						口腔ケアは 全介助です		
手摘	実施事項	使用するもの		ケア方法		残存歯		9本	
	口腔 スポンジ 洗浄			両歯を軽く洗う。唇内は軽く洗う。					
	保湿	コンクールマウスジェル		両歯を一併一方向に押さえて口腔内隅の隅に押し下ろす。口内隅内側側面に塗布する。					
	義歯を洗浄			上下部分義歯を洗う。上・下で古式保湿剤を塗布する。					
	歯肉を洗	歯肉ブラシ		①左は右下1本のみ、右は、全両側を洗う。					
	歯肉を洗	歯肉ブラシ		②右を洗う。					
	歯肉を洗	スポンジブラシ		まず上・下の両歯を洗った後で歯肉を洗う。粘貼ブラで拭く。					
	歯肉を洗	コンクールフロストロール		③上・下の歯肉にスポンジを押し当てる。右側は右側のみ。粘貼ブラとスポンジブラシで歯肉を洗う。左側は左側のみ。					
	保湿	コンクールフロストロール		スポンジブラシは、歯が手前に向かう。歯肉の両側のみを洗う。シートで拭く。					
	義歯の清掃	義歯ブラシ		口腔内全体に塗布する。※必要に応じて吸引。					
備考	口腔内内容			流水下で洗う。スポンジ（全部の手）周囲は残し洗いに注意する。					
	経管栄養：注入時間を確認する。注入回数や濃度について	※ 注入回数にケアが行われるよう注意してほしい							

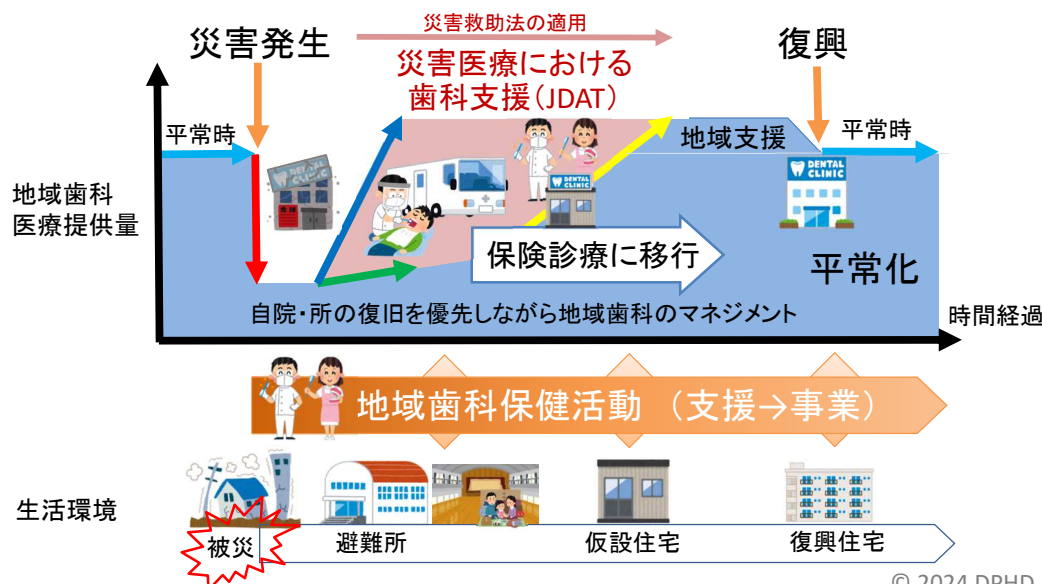
これからの連携は？

- 同席連携か、連携して分業か、現実的なのは？
 - 緊急時の別々は、効率が悪く、“アセスメント疲れ”
 - 同席すればアセスメントは効率的で学びも多いが、人的資源としては非効率的
 - 分業して連携(するつもり)は、お互いの知らない部分は見落とす(決めつけとなる)
 - だからこそ、項目があり、埋めなければいけないシステムが必要
 - まずは、お互いが知ることからしか始まらないが、現在の教育システムでは学べない

災害保健医療支援における関係者



支援活動の移行 (災害医療→保険医療, 支援活動→地域事業)



<https://academy.doctorbook.jp/contents/4744>

<https://academy.doctorbook.jp/contents/4788>

無料視聴

歯科で働く人が知っておくべき

災害対応

中久木康一 先生

被災したらどうすればいい？

東京医科歯科大学大学院
医歯学総合研究科 救急災害医学分野

災害が起きたらどうすれば？
(19:12)

無料

歯科の地域災害支援、どんなことをしているの？ (18:44)

自分が被災したらどうしたらいい？ (19:06)

災害支援の「ルール」を知っておこう (17:37)

知っておきたい！

歯科診療所としての

災害への備え

～防災・対応・支援～

中久木康一 先生

東京医科歯科大学大学院
医歯学総合研究科 救急災害医学分野

災害歯科の背景 (20:39)

プレミアム

災害発生時に向けた歯科診療所における備え (21:57)

災害歯科支援の体制と目的 (20:18)

災害支援と災害歯科支援チーム (16:56)

被災者と話す時に意識すべきこと (23:03)

大規模災害被災後の復旧／再開に向けて (20:44)